

「世界天文年 2009 参加・実施マニュアル」 を活用して、世界天文年に参加しよう

安藤 享平

〈世界天文年 2009 日本委員会企画委員/郡山市ふれあい科学館
〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目 11-1 ビッグアイ 20 階〉
e-mail: kyoando@spacepark.city.koriyama.fukushima.jp



世界天文年 2009 が幕開け、半年が過ぎ、いよいよ夏がやってこようとしています。星空観察に良い時期であるとともに、大学や研究機関の一般向け公開も行われるこの時期、「世界天文年 2009 参加・実施マニュアル」を活用して、みなさんも世界天文年に参加し、全国各地で盛り上げていきませんか？

「世界天文年 2009 参加・実施マニュアル」は、世界天文年の趣旨や組織・企画といった基本的な情報から、天体観望会を実施するためのポイントや、世界天文年に活用できる素材などを紹介する資料など、「これ 1 冊があれば、世界天文年を知り、(参加者/実施者として)さまざまな形で参加できる」とことを目指して、世界天文年 2009 日本委員会と、天文教育普及研究会の共同で制作しました。

本冊子はすでに多くの天文教育関係者のもとにお届けしていますが、Web でも公開しており、目次をたどることで、必要な情報をコンパクトにまとめた形で得ることができます。世界天文年 2009 を全国津々浦々で進めていくために、この冊子をさまざまな形で活用していただければ幸いです。

内容は以下の構成となっております。

・世界天文年 2009 の予定（1～12 月）

カレンダー形式となっており、1 年間のイベントやガリレオにちなんだ出来事などが記載されています。

・PART 1 世界天文年 2009 の基礎知識

基本的な情報を網羅するとともに、みなさんが

参加するための方法について記載されています。

・PART 2 世界天文年 2009 のイベント企画

イベントを企画し、実施するための情報を網羅しています。イベントを初めて企画するという方から、これまでイベントを実施してきたみなさんにとっても、より世界天文年に積極的に参加していただきための情報も、この中に記載しています。

—内容例—

世界天文年を紹介するには？

イベントを世界天文年公認にするには？

イベント開催情報を広報するには？

天体観望会を企画するには？

夜空の星を指し示すには？

望遠鏡をうまく覗いてもらうには？

地域でライトダウンを呼びかけるには？

展示を企画するには？

講演会を企画するには？

研究者は何ができる？

子どもたちと語り合うには？

・PART 3 世界天文年 2009 関連商品のご紹介

世界天文年に併せて、各企画で活用できるグッズなどを紹介しています。

・資料編

公式ロゴマークやキャラクターマークなど、世界天文年に関連して活用できるデータなどを紹介しています。さまざまな画像・映像資料が世界天文年にちなんで公開されていますので、必要に応

じてご活用ください。

こうした情報の中には一部新しい情報が加わることもあります。本冊子の更新版を Web 上に掲載していますので、特に、さまざまな天文グッズの中から選ばれた「世界天文年セレクション」や「公認書籍」などについては、そちらを併せてご覧ください。

みなさんが世界天文年に参加することは、難しことではありません。たとえば研究機関の公開などで、世界天文年を関連づけて紹介するなど、さまざまなかかわり方を作る可能性があります。ポスターを掲示したり、ロゴマークを使用したりするところからでも始められます。世界天文年 2009 日本委員会の Web ページと併せ、必要な情報を取り出していただければ幸いです。

そして、天文同好会の方や世界天文年・宇宙関係のイベントを開催したい方など、世界天文年関連のイベントの実施にヒントを求めている方にぜひご紹介ください。PART 2 のコーナーで、実際に各種イベントを行うときの注意事項など、実践から得られたノウハウが盛り込まれています。全国各地で星空を多くの人と見上げる機会、あるいは宇宙に親しむためのさまざまなイベントを簡単なところから実施できるための、具体例も掲載しています。

・入手方法

冊子版はすべて配布を終了しましたので、Web 版をご活用ください。PDF データで、冊子版の内



研究機関でも、一般向けの公開の際に「世界天文年」を関連づけて紹介することができます。天文学の発展、生命、宇宙観などのさまざまなアプローチでの講座や、普段は研究用の望遠鏡を用いての天体観察会の実施も市民には効果的なアピールとなるでしょう（写真提供：愛知教育大学天文台）。

容をすべて網羅しているほか、html 版では、最新情報の追加などをして情報の更新を行っています。

世界天文年 2009 日本委員会 Web ページ (<http://www.astronomy2009.jp/>) 下部の「参加・実施マニュアル」バナーをクリックしていただければご覧いただけます。

また、天文教育普及研究会の Web ページ (<http://tenkyo.net>) からもご覧いただけます。

最後になりますが、編集・執筆にご協力いただいたみなさまに感謝いたしますとともに、本冊子をご活用いただき、各地で世界天文年がより盛り上がる一助となれば幸いです。